

『楽譜・音楽書祭り 2013』 報告書

2013年9月24日作成

1. 概要

キャンペーン：『楽譜・音楽書祭り 2013』

開催期間：4月15日～7月31日

主催：(一社)日本楽譜出版協会 <http://www.j-gakufu.com/>

後援：日本楽譜販売協会・全国楽器協会

内容：「帯」応募券による景品応募型の商品キャンペーン

2. 実行委員 ※敬称略

委員長：野田修市（ドレミ）

副委員長：富澤勇次（中央アート）、松本大輔（リットー）

委員：浅野恒（音友）、片岡博久（ケー・エム・ピー）、木村一幸（シンコー）、下條俊幸（全音）

3. 参加出版社 全14社

エー・ティー・エヌ、音楽之友社、学研パブリッシング、ケイ・エム・ピー、自由現代社、春秋社、シンコーミュージック・エンタテイメント、全音楽譜出版社、中央アート出版社、東音企画、ドレミ楽譜出版社、フェアリー、ヤマハミュージックメディア、リットーミュージック

4. 協力広報誌 全18誌

6月号(5月発売)掲載もしくは、6・7月号の連続の1/4・1ページ掲載

教育音楽 小学版・中学版、高校版、Stereo、Band Journal、レコード芸術、音楽の友、ムジカノーヴァ、G I G S、B-PASS、YOUNG GUITAR、Songs、月刊 Electone、月刊 Piano、Go! Go!Guitar、Guitar magazine、Bass magazine、Rhythm&Drums magazine、RandoM

5. 販促(PR)

ポスター2,000枚

応募ハガキ付リーフレット 200,000枚

6. 広報協力店舗 計701店

北海道 35 東北 45 東京 65 関東(東京以外)150 北陸 32 中部 124 近畿 115 中国 40
四国 18 九州・沖縄 77

7. エントリー商品 14社/80点

8. 賞品の内容

特賞：旅行券(5万円)2名

A賞：好きな楽譜プレゼント300名

B賞：QUOカード1000円分304名

9. 応募数 総数1,269通

5月195、6月260、7月557、8月257

※希望賞品内訳 有効応募1112通

特賞420名、A賞270名、B賞420名、不明2名

10. 賞品の発送

特賞：2名、A賞：197名、B賞304名

8月31日事務局より発送

「楽譜・音楽書祭り 2013」総括

多大なご支援を頂いた「全楽協・販売協会」の両協会からは、来年も引き続き開催すべきとの話を頂いています。理事長からも、継続開催について意欲的な発言があり、開催する方向で総会の審議に入るものと思います。

現場の楽器店・書店のアンケートでは、不要と言う意見も 10%程度有り、過信は禁物ですが、「良かった、大変良かった」といって頂いた方から、感想やご指摘も出ておりますので、次回の開催予定の際の参考とすべきでしょう。

また、村上楽器営業部様より、社内アンケートをご提供頂きました。概ね賛同頂いているようですが、数多く意見も頂戴しているため、こちらも参考とすべきと考えております。特に対象商品と帯に関しては、一考の余地がありそうです。

ユーザーからの 1,200 通を超える応募ハガキには、多くのご意見が寄せられております。喜びの声と受け止めてよいと思います。第 1 回目の開催としては、一定の成果があったと思います。

来年度事業計画について

開催に向けた案内が必要です。まずは、キャンペーンの設計が急務で、楽譜出版協会と楽譜販売協会の代表による意見交換会が必要だと考えます。

委員会の諸手続きについて

- 仕切を「販売協会」様に委譲した方が良いと思われる事項
 - ・リーフレットの枚数の調整。
 - ・販売協力店リスト作成。
 - ・A賞(楽譜)の購入。(経理事務の効率化)
- 早期の概要決定と事務局中心の広報、作業の推進。
 - ・参加者の意思疎通を事務局に集中することで図る。

アンケート精査のポイント

1. エントリー商品について

意見は、まちまちだが新刊だけでなく、既刊本も含めてとする声は内外より出ていた。再精査する必要性は高い。ただ、参加社や販売協会との連携が重要。変える場合、委員以外の出版社への早期告知も必要となる。第 2 回目を定着期と考えるなら時間的には、第 3 回目以降の検討課題とした方が良いと思われる。

2. 帯について

第 1 回目とは、違う形を検討した方が良いとの意見が最も数多く寄せられている。

以上

一般社団法人日本楽譜出版協会
販売対策委員会

作成：野田修市(ドレミ楽譜)